

# 夏活動服仕様書

この仕様書は、川越地区消防局が購入する消防吏員用活動服について定めたものである。

## 1. 使用材料

### 1) 生地一般

- ア. 原糸は糸ムラ、番手ムラ、織ムラなどない良質のものを使用するものとする。
- イ. 織り上がりは均整で、織キズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用するものとする。

### 2) 主材料

#### A表生地

項目	規格
種類	CA-9602 エスタミド トロピカル
混紡率	メタ型アラミド75% パラ型アラミド5% 難燃ポリエステル20%
番手	縦 40/2 横 40/2
組織	1/1の平織り
染色	アラミドは原液着色、ポリエステルは綿染
密度	縦 60本 横58本/2. 54cm間以上
引張強度	縦 85kgf 横 70kgf /5cm間以上
色相	ブルー(PB-5)
収縮率	縦2% 横2%以下
染色堅牢度	洗濯変退色 4級以上 摩擦(乾) 4級以上 耐光 3級以上
洗濯後のシワ	3級以上
安全衛生基準	遊離アルデヒドの溶出量は25℃の水で1時間抽出後0. 1%以下
難燃性試験	残炎1秒以下 残じん1秒以下 炭化面積10c m <sup>2</sup> 以下
重量	155g/m <sup>2</sup> 以上
導電性繊維	1%以内

#### B表生地

項目	規格	使用箇所
種類	R79158 トロピカル	1. 襟ライン 2. 背ヨーク 3. 胸ポケットフラップ裏 4. ポケットヒダ内側
混紡率	メタ型アラミド67% パラ型アラミド3% 再生ポリエステル20% 難燃レーヨン10%	
番手	縦 40/2 横 40/2	
組織	1/1の綾織	
染色	アラミドは原液着色	
色相	オレンジ	

### 3) 補助材料

項目	規格	使用箇所
芯地	ポリエステル65% 綿35%平織り	1. 上襟2. 襟腰3. カフス
〃	ポリエステル100% 平織り接着芯	1. 腰帯
釦	15m/m	1. 前立て第一釦 2. 左尻 P
	20m/m	1. 脇貼りポケットループ止め用

面テープ	ネイビー	1. 階級章台2. 胸ポケット3. 前身 4. 脇貼りポケット雨蓋部
袋地	ポリエステル65% 綿35% スレーキ色相クリーム	1. ポケット袋地
腰裏地	ポリエステル65% 綿35% スレーキ色相 濃紺	1. 腰帯(マーベルト)
ファスナー	5CN・3CFコイルファスナー	1. 前立(上衣)2. 袖口
〃	YKK 製 ミトラ3番	1. 前立て(ズボン)
縫製糸	アラミド50番 ブルー	1. 地縫い2. ステッチ3.
〃	アラミド40番 オレンジ	1. 地縫い
〃	ポリエステル100% 90番	1. オーバーロック
〃	ポリエステル100% 50番	1. 袋地

## 2. 形状

- 1) 上下共に、人体工学をベースにした「ボディ・ナビデザイン」による縫製とする。
- 2) 上衣はカッターシャツ型付け袖とし、前合せと袖口はファスナー開閉式とする。  
両胸に、雨蓋付左右アウトポケット付きとする。
- 3) ズボンは長ズボン型とし、前合わせはファスナー開きとし、タックは外向きツワンタックとする。  
雨蓋付貼りポケット、並びに、尻ポケット付きとする。

## 3. 縫製

### 一般

- ア. 各部の縫い合わせは、優良で縫い代が適当であること。
- イ. 縫い目の飛び、外れがないこと。
- ウ. 糸調子は上下ともツレ、タルミの無いようにし、縫い始め、縫い終わりに返し縫いをするこ  
と。
- エ. 縫い目数は指定通りにすること。  

地縫い運針数	12針以上／3cm 間
飾りステッチ運針数	〃 / 〃
- オ. 飾りステッチ幅は約 0.5cm でポケット袋部分等は端ミシンすること。
- カ. 飾りステッチは表ミシンとすること。
- キ. 各部の合標、曲線は充分注意すること。
- ク. 接着芯はアイロンを用いて全面接着とすること。
- ケ. 台襟接着芯はすべて高熱加圧芯張りプレス機を用いて全面接着すること。
- コ. 布地の目は正確に取ること。

## 4. 上衣

### 1) 襟

- ア. 上襟は縦地に使い、剣の長さは約8cmとし、背中心で約4. 5cm(標準)とする。表側は返

- りを良くする為に吹きもたせを施し、飾りステッチは約0.5cm 台襟上部は端ミシンとする。
- イ. 襟芯は補強芯を貼り剣先にキーパーを縫い付けたものを地縫い返しをし飾りステッチをする。
  - ウ. 台襟は背中心で幅約3.5cm とし、接着芯を貼り、上襟を挟み、縫い返しをし、身頃に縫い付け、下部は2条縫いとする。下部の1条は表裏に端ミシン縫いとし、中央にプリント織マークとサイズマークを挟み縫いする。
  - エ. 上襟表衿一部は表生地(B)のオレンジとする。
- 2) 前身頃
- ア. 前合せの開閉はファスナー式とする。
  - イ. 身頃と見返しを地縫い返しをして1条の幅0.5cmの飾りステッチをする。上前裏は前端より約4cm 奥に2条ミシンで縫い付けファスナーテープを見返し側に挟み縫いする。
  - ウ. 下前は身頃と見返しにファスナーを挟み地縫い返しをして一条の幅約0.5cm の飾りステッチとする。
  - エ. 上前にA面、下前にB面(幅約20m/m、長さ30m/m)の面テープを台襟下部より3カ所に縫い付ける。(標準)
  - オ. 左右胸ポケット両ブタの上方に面テープ B を付ける。(幅25mm×長さ40mm)
  - カ. 左身頃面テープ上部に、「川越地区消防局」と金茶色で生地に直接刺繍したものを地縫いする。
- 3) 胸ポケット
- ア. 左右前身頃に挿みヒダ付きアウトポケットを2個付ける。
  - イ. ポケットは端ミシンで縫いつける。
  - ウ. ポケット上部と両胸の裁ち目はオーバーロック掛けとする。
  - エ. ポケット上部の二つ折りは内側に約2cm とし、約1.5cm で飾りステッチとする。
  - オ. ポケットの縫い始めと縫い終わりは返し針をする。
  - カ. ポケット中央に面テープB面(幅約20m/m、長さ60m/m)を付ける。
  - キ. 雨蓋は別図の型とし裏面に面テープAを付け、地縫い返しをし幅約0.5cm の飾りステッチとする。
  - ク. 左上前雨蓋中央側にペン刺し穴をあける。
  - ケ. ポケット挿みヒダ及び雨蓋裏は表生地(B)のオレンジとする。
  - コ. 左胸ポケット内にペン差し用の布(25m/m×40m/m)をポケット上部より15m/m 下にポケット中央側から前身頃に取り付ける。
- 4) 後身頃、背ヨーク
- ア. ヨークは一枚物 V 字型でヨーク下部後身頃の上裁ち目にオーバーロックを掛け地縫い片倒しをして幅約0.5cm の飾りステッチをする。
  - イ. ヨーク下端は上袖縫いの位置に合わせる。
  - ウ. ヨークは表生地(B)のオレンジとする。
  - エ. ヨーク部分に黒の印刷で消防指定(書体・大きさ・位置)のプリントする。

「川越地区消防局 / KAWAGOE FIRE DEPT.」

オ. 脇身頃は2枚ハギで中胴の位置で地縫い片倒しをして、幅0.5cmの飾りステッチとする。

5) 袖及びカフス

ア. 袖は4枚ハギとし、地縫い片倒し幅約0.5cmの飾りステッチとする。

イ. 上袖縫い目先端に袖口から約17cmまで16cmのファスナーを表から1条ミシン縫いする。

ウ. 開き止まり部分よりカフス付け根まで水かきを縫い付ける。

エ. カフスは接着芯を貼り地縫い返しをし、幅約0.5cmの飾りステッチをする。

オ. 袖口はひだをとらずカフスに挟み縫いをし、幅約0.5cmの飾りステッチをする。

カ. 着用左側の袖付け根より約6cm下りで上袖に腕章用のマジック台を縫い付ける。

6) 袖付け

インターロックミシン縫いとし身頃側に倒し約0.5cmの飾りステッチをする。

7) 脇縫い及び袖底縫い

前、後身頃、脇身頃、袖底をずれなく合せインターロックミシン縫いとする。

8) 裾縫い

前身頃、後身頃、脇身頃連続で幅約2cmの三つ折リアロハタイプとする。

9) 片布

左前身頃胸ポケット裏側に氏名片布を、右前身頃胸ポケット裏側に品質クロスを縫い付ける。

5. ズボン

1) 前身頃

ア. 外向き深さ前側約2cmのタックを左右各1本とる。

イ. 前立、天狗縫い付け部、裾はオーバーロック掛けとする。

1) 後身頃

ア. 腰ダーツを左右各二本とり片倒しとする。

イ. 尻と裾はオーバーロック掛けとする。

2) 前立・天狗

ア. 前立裏はオーバーロックを掛け帯付けより下にファスナーを縫い付け地縫い返しをし幅約3.5cmの飾りステッチとする。

イ. 天狗裏は袋地スレーキを使い天狗表と地縫い返しをし前身頃とファスナーを挟み縫いの上端ミシン飾りとする。

ウ. ファスナー下部の止まりにかんぬき止めをする。

エ. 棒シックは天狗裏スレーキと連続で、かんぬき止まりより約10cm間、縫代のみ端ミシン掛けとする。

オ. 天狗上部に天狗の鼻を挟み縫いし、上部をかんぬき止めし、先端に鳩目穴かがりをす

- る。
- 3) 脇貼りポケット
- ア. 脇縫い中央で帯下部より16cm下りに雨ブタ上部を地縫いし片倒しの上幅約0.5cmの飾りステッチを掛ける。
  - イ. 雨ブタは縦約6.5cm、横約18cmで芯地をはり面ファスナーB(25m/m×40m/m)を2枚縫いつけ地縫い返しをして、幅約0.5cmの飾りステッチを掛ける。フラップ中央内側に共生地ループ(幅約0.8cm)をはさみ縫いする。
  - ウ. 貼り付けアウトポケットは縦約20cm、横約17cmで風きん幅約4cmの二方風きんとする。
  - エ. 風きんは底と後方に作り、端ミシン飾りとし前方と底の前方より約3cmまでは直接身頃に縫い付ける。
  - オ. ポケット布は四方をオーバーロックを掛け、ポケット口は約3cmで二つ折りをし、幅約2.5cmの飾りステッチをする。
  - カ. ポケット上部二つ折り部分に雨ブタに合うように面テープA(25m/m×40m/m)を2枚縫い付け、中央にループ止めボタンをつける。
  - キ. ポケット上部は二ヶ所かんぬき止めをする。
  - ク. 後方風きんはたたんでポケット口より約3cmまで直接身頃に縫い付ける。
- 4) 尻ポケット
- ア. ポケット口幅約13.5cm、深さ約17cmを左右に付ける。
  - イ. ポケット口は芯入り片玉縁とする。
  - ウ. 左ポケットのみ釦止めとする。
  - エ. ポケット両端はかんぬき止めとする。
  - オ. ポケット口向当ては4cm以上としオーバーロックを掛け袋地に縫い付ける。
  - カ. 袋地は左右を地縫いし回りを幅約0.5cmの飾りステッチとする。
  - キ. 袋地上部は帯飾りステッチに掛けるようにする。
- 5) 帯付け
- ア. 仕上がり幅4cmで3.8cmの接着芯を全面に接着する。
  - イ. 腰帯は尻あわせ部分で割り縫いとする。
  - ウ. ラッセル入りマーベルトを使い帯の下部の落としミシンでマーベルトを縫いつける。
  - エ. マーベルトの尻あわせは割り縫いとする。
  - オ. 左右の帯の先端に前かんを付ける。
- 6) 脇、及び内股縫い
- 内股はインターロックミシン縫いとし、脇縫いはインターロックミシン縫いの上、片倒し幅約0.5cmの飾りステッチをする。
- 7) 尻縫い
- ア. 縫い代は上部で約3cm、下部で約1cmとする。

- イ. 裁ち目はオーバーロック掛けし、2本針、4本糸使い環ミシン掛け、割り縫いとする
- 8) ベルト通し
- ア. 幅約2.4cm、高さ約6cm(有効長さ約5.5cm)を後中央2ヶ所左右3ヶ所の合計8ヶ所付けとする。
- イ. 上部から約0.5cm下りで上下共袋付けとする。下部は折り曲げてステッチを掛ける。
- 9) 片布サイズマーク及び品質クロス
- 左ピスポケットに片布、右ピスポケットに織マーク・品質表示を付ける。

6. 寸法

(単位 cm) 標準

上 衣					ズ ボ ン				
サイズ	首回	着丈	桁丈	胸囲	サイズ	腰回	渡り幅	股下	前タック
A S	37	72	76.5	100	W70	70	33	73	外向き 1本
A M	39	74	79.5	105	W73	73	34		
A L	42	76	82.5	110	W76	76	35		
ALL	44	78	85.5	115	W79	79	36		
ALLL	45	80	88.5	120	W82	82	36		
B M	41	75	80	115	W85	85	37		
B L	43	78	83	120	W88	88	37		
BLL	45	78	86	125	W91	91	38		
BLLL	47	80	89	130	W95	95	38		
4L	47	82	92	135	W100	100	39		
5L	47	85	95	140	W105	105	39		
					W110	110	40		
					W115	115	41		
					W120	120	42		
					W125	125	43		

※袖の調整は±3cm単位とする。

※着丈の調整は±5cm単位とする。

※ズボンのすそ上げは2cm単位とする。(ハーフ指定の場合は裾上げテープを附属とする。)

上記以外のサイズ、女性用職員用活動服については、当消防本部担当者と別途協議すること。

7. 納入数量      上衣82着      ズボン95本

8. 納入期限      令和8年10月30日(金)

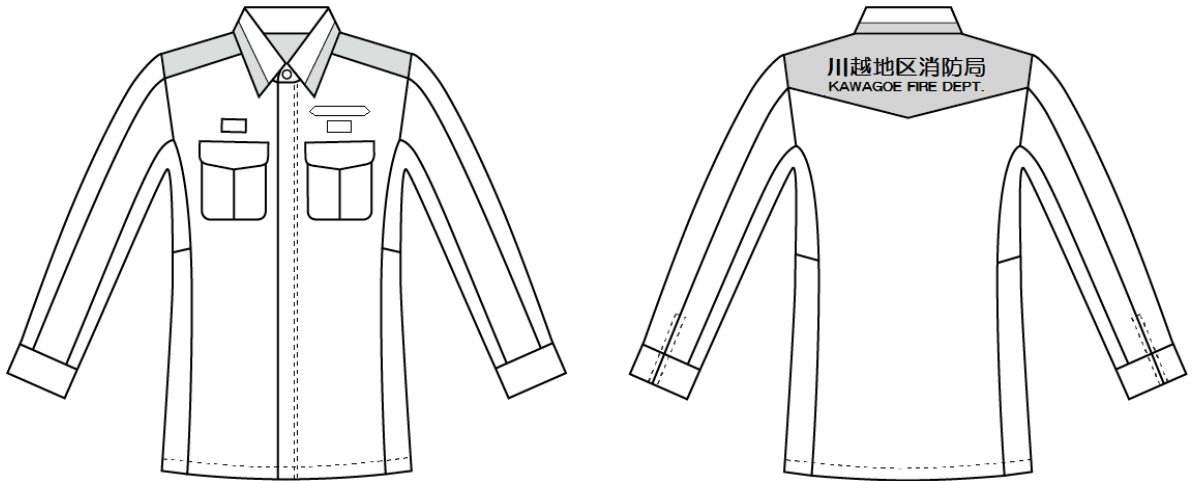
9. 納入場所      消防局総務課が指定する場所

10. 納入方法      所属別に振り分けて納入すること。

11. その他      本仕様書に疑義が生じた場合は、本組合担当者に連絡しその指示によること。

図

(上衣)



(ズボン)

